（様式⑦－1　小学校・中学校）

確かな学びと豊かな心･健やかな体をはぐくむ　学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立市小学校
校長　内川　知美

中学校区におけるめざす子ども像

○自分のよさを知り、人とつながり協働する。　○将来にゆめや希望を持ち、その実現に向けて粘り強く努力する。

令和７年度　重点目標

学校教育目標「豊かな人間性をそなえ、文化を受け継ぎ、創造する人となるための基礎を培う」の実現にむけ、「確かな学力の定着と向上」・「豊かに伸びる心の育成」・「健やかな体の育成」をめざし、校内全体で「教科研修委員会」「生徒指導委員会」「人権研修委員会」「健康指導委員会」の４つの委員会にチームで取り組み、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進する。特に「チーム力の強化（委員会の自主運営・学年会の充実）」を組織運営の目標とし、前年度の総括をふまえた改善の視点と新たな実践を重ねる。また、ICT を効果的に活用できる授業の改善にも取り組み、月州中学校群での連携を密にした「つながる教育」を推進し、家庭・地域との連携を深め、「堺版コミュニティ・スクール」に向けた地域人材の活用など、「ひろがる教育」を充実する。

「確かな学び」の現状

教科研修委員会での学力向上の取り組みにより、学習規律・習慣が確立、基礎学力が定着している児童が多い。令和６年度「全国学力・学習状況調査」でも、国語の基礎学力に関わる領域においては全国平均を上回る結果となった。しかし、学習に自ら進んで取り組んだり、自分で課題を持って学習したりという児童は少ない。基礎・基本の定着・問題解決型の学習を意識して授業を進めたことにより、ノートのまとめ方も上手になってきている。算数では、４～６年のトレーニングタイムの時間に、計算問題を継続的に取り組んでいた成果が結果に表れている。

また、１人１台環境において子どもたちが積極的に児童用パソコンを活用して、必要な情報を収集・判断・表現できるように「情報活用能力」の育成に取り組んでいる。「情報モラル」に関する指導にも取り組み、ICT を活用した授業改善を進めている。

「豊かな心・健やかな体」の現状

これまで、道徳を中心に研修を進めてきたこともあり、授業でも活発な意見交換が行われ、ノートにも自分の思いや学んだこと、これからのことなどがしっかりと書けている。たてわり活動などでも年下の児童に対して思いやりをもって関わろうとする児童が多い。令和６年度「ＣＢＴによる堺市学習・生活状況調査」でも、関連するほとんどの項目において、肯定的な意見の割合が高いことから、家庭と連携して豊かな心が育っていると考える。

体力面においては、休み時間に外遊びを推進している。令和６年度「堺市新体力テスト」堺市平均との比較においては下回っている項目もあるが、昨年度に引き続き「外遊び」や体力向上の取り組みを進めていきたい。また、授業や休み時間の活動を通し、児童自身が目標をもって体力作りができるように進めていきたい。

大項目	中項目	具体目標	評価項目　（取組、成果･状態）	判断基準（評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認（～11 月）		達成状況（年度末）自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	生きる力の基となる基礎・基本の学力の定着を図る。	漢字・計算練習に取り組み、基礎学力の定着を図る。	学期末テストで漢字・計算とも習得率８０%以上。	学期末テスト 学校評価	２学期末	○	・基礎学力の定着においては児童の実態に合わせて繰り返し学習やトレタイを充実させていくことで定着を図っている。８０%を超える児童もいるがそれに届かない児童への定着が課題である。自主学習については、自分で目標を設定するなど意欲が高まるよう取り組んでいる。読書については時間の確保に課題があるが，読書タイムや学校図書館の活用で本を読む機会を作るようにしている。	○	・学期末漢字では、どの学年でも習得率が８０%後半である。日々の取り組みの中で定着を図れている。取り組みを継続していく。 ・自主学習の取り組みについては肯定的回答が７５%と下回り、本校の課題となっている。本年度は学期ごとに目標を設定し、振り返りながら進めていくことで意欲を高めようと取り組んだ。様々な取り組みを今後も続けていく。 ・読書については８６%と上回っている。	○	・基本的な漢字、計算が習得できている。 ・自主学習の取り組みを継続・発展することができている。 ・読書週間の定着の取り組みが進められている。
			毎日の宿題や自主学習に取り組むことにより、保護者と連携しながら家庭学習習慣づくりに取り組む。	「家で時間を決めて宿題や自主学習をしている」で、肯定的評価８０%以上。	学校教育アンケート	２学期末						
			週２回の朝読を始め、図書館活用を通じて自ら進んで読書したり調べ学習に利用したりする児童を育成する。	「本をよく読んでいる」で、肯定的評価８５%以上。	学校教育アンケート 学校評価	２学期末						
		効果的にPC を活用しながら、「学びのコンパス」を踏まえた深い学びの実現に向けた授業改善の推進を行う。	高学年：調べ学習で児童用PC を活用した学習に取り組む。 低学年：児童用PC を活用し学習の復習に取り組む。	「ＰＣを使って、調べたい内容を調べたり、ドリルパークで習ったことの復習ができたりしている」で、肯定的評価８０%以上。	学校教育アンケート	２学期末	○	・パソコンの活用はどの学年も比較的できている。復習などにとどまらず，調べ学習や学習したことをまとめ、表現する手段として活用することができている。ノートづくりについては、ノート検定を全学年で取り組むことで、自分の思いを表現する力が学年が上がるごとに実感できる児童も多い。	◎	・タブレットの使用については８９%と肯定的回答が高くなっている。校内での研修の積み重ねや情報の共有により教師側の意識も広がってきている。 ・「授業が分かりやすい」では９４%と高い。校内での研修をより充実させ維持していきたい。	◎	・タブレットの使用状況が向上している。 ・授業改善の取り組みが進められている。
			学びのコンパスを軸にした子どもが自ら学びを進められる授業づくりを進め、自分の思いや考えを書く活動を取り入れ、問題解決の道筋がわかるノートづくりに取り組む。	「授業はわかりやすい」「授業中、自分の言葉で考えや解き方をノートに書いている」で、それぞれ肯定的評価８０%以上。	学校教育アンケート	２学期末						
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	一人一人が互いのよさを認め、共に高めあえる力を育成する。	道徳をはじめ、あらゆる教育活動の場において、子どもの自己肯定感や自尊感情を醸成し、自他の価値を尊重する意欲や態度を育成する。	「自分にはよいところがある」で、肯定的評価８０%以上。	学校教育アンケート 学校評価	２学期末	○	・道徳だけでなく、学年集会等の活動に計画的に取り組み、自己肯定感や自尊感情の醸成に努めている。 ・各学年で支援学級との交流会を計画し、実践している。	◎	・「自分にはよいところがある」に対し肯定的な回答が８４%あった。「学校は楽しい」では９２%、「思いやりを持って人に接している」では９２%だった。昨年度よりも、肯定的な意見が高くなった。 ・来年度も継続して豊かな心、育成に向けた取り組みを継続していく。	◎	・道徳や学年活動の実践が児童の自己肯定感の向上や自尊感情の醸成につながっている。
			学級・学年・全校の集団づくりを通して、互いのちがいを認め合い支え合おうとする児童を育成する。	「学校生活は楽しい」で、肯定的評価９０%以上。	学校教育アンケート 学校評価	２学期末						
			支援を要する児童の共通理解と対応力を高めることで、人の気持ちがわかる児童を育成する。	「思いやりを持って人に接している」で、肯定的評価８５%以上。	学校教育アンケート 学校評価	２学期末						
		児童の実態を適切に把握し、基本的な生活習慣の確立を図る。	人権・道徳教育を推進し、「なやみごとアンケート」を適切に活用しながら、いじめの未然防止・早期発見・組織的対応に取り組む。	「なやみごとアンケート」を年3回実施し、月１回の委員会で情報共有をする。	各月の委員会	２学期末	○	・自分からあいさつしたり、元気よくしたりする児童が少ない。 ・児童会が中心となってあいさつ運動の活性化を図る企画を行っている。 ・児童会や生活委員会の取り組み後の児童の意識や定着が課題。	○	・「自分から進んであいさつできている」「学校のきまり、市っこのきまりを守っている」に対し、肯定的な回答は８７%、８９%だった。 ・「自分から進んであいさつできる」は８０%を超えていたが、実感として達していないように感じられる。来年度はより一人ひとりが意識できるようなあいさつ運動の実施の検討を行う。	○	・きまりを守ることができる児童が多い。 ・今後も、すすんであいさつができる児童を育ててほしい。
			あいさつ運動を活性化し自分から進んで挨拶できるようになったと思う児童を育成する。	「自分から進んであいさつができている」で、肯定的評価８０%以上。	学校教育アンケート 学校評価	２学期末						
			相手の立場に立って正しい言葉を使ったり、気持ちの良いきれいな環境づくりをめざしたりして美しく行動しようとする児童を育成する。	「学校のきまり、市っこのきまりを守っている。」で、肯定的評価８０%以上。	学校教育アンケート 学校評価	２学期末						
	体力の向上	運動に親しむ資質、能力及び体力の向上を図る。	体力向上プランに基づき、体育授業の充実・外遊びの推進を図り、体を動かすことが好きな児童を育成する。	「体育の授業が好きだ」、「３日以上外で遊ぶ」と答える児童の割合が、それぞれ８０%以上。	学校教育アンケート 学校評価	２学期末	○	・体育委員会を中心に休み時間の外遊びを促進する企画を行っている。 ・避難訓練では、真剣に取り組んでいる児童が多い。 ・ランチルームの使用を再開し、学年集団や異学年との交流をしながら、楽しく給食を食べる取り組みを進めている。	○	・児童アンケート「体育の授業が好きだ」に対し、肯定的な回答が８８%だった。 ・児童アンケート「３日以上外で遊ぶ」に対し、肯定的な回答が６７%と低かったので、体育委員会の取組等で外遊びを促進する活動を続けていく。 ・学校教育アンケート「自分の体と命を大切にしている」に対し、肯定的な回答が９８%だった。	○	・健康指導を通し、自分の命を大切にする児童の育成に努めている。 ・外遊びについては課題が見られるが、評価項目の見直しが必要と考えられる。
			健康教育指導を実施し、食育との連携、手洗い等の習慣、避難訓練、交通安全指導等を通じて自分の体と命を守ろうとする児童を育成する。	「避難訓練をしたり、交通ルールを学んだりして、自分の体と命を大切にしようとしている」で、肯定的評価９０%以上。	学校教育アンケート 学校評価	２学期末						
地域協働	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行うとともに、家庭･地域とともに歩む学校づくりを推進する。	学校ホームページ、各種たより等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。	学校ホームページを毎日更新する。 「学校だより、学年だより、ホームページ等を通して学習内容や子ども達の様子の発信に努めている」で、肯定的評価８０%以上。	学校教育アンケート 学校評価	毎月 ２学期末	○	・毎日ホームページの更新を続け、成果の発信に努めている。 ・各学年で出前授業等を計画、推進を進めている。	○	・ホームページを毎日更新し、情報発信ができた。地域との連携もさらに推進したい。 ・今後も、地域の人材との交流を計画し活性化していきたい。	○	・ホームページが毎日更新されるなど、学校の様子がよくわかる。 ・地域人材を活用した出前授業が充実している。
			地域人材を積極的に活用し、地域とともに歩むチーム学校づくりを推進する。	全学年の授業において、ゲストティーチャーなどで参画していただく。	学校評価 実践報告	２学期末						

校長より（年度末）

基礎・基本の定着や ICT 活用の成果により、「授業がわかりやすい」と感じる児童が多く、確かな学びの力の伸びを感じます。また、「学校が楽しい」「思いやりをもって接している」との回答も高く、豊かな心の育成も前進しました。一方で、自主学習や外遊びの充実は課題であり、こどもたちを取り巻く環境も考慮しながら主体性と体力向上を一層推進していきます。

学校関係者評価者から（年度末）

児童アンケート・保護者アンケートの両方でもよい結果となり、日々の実践を通して様々な場面で成長が感じられる一年だった。